

2014年3月期第3四半期 決算概要



2014年2月5日

日本製紙株式会社



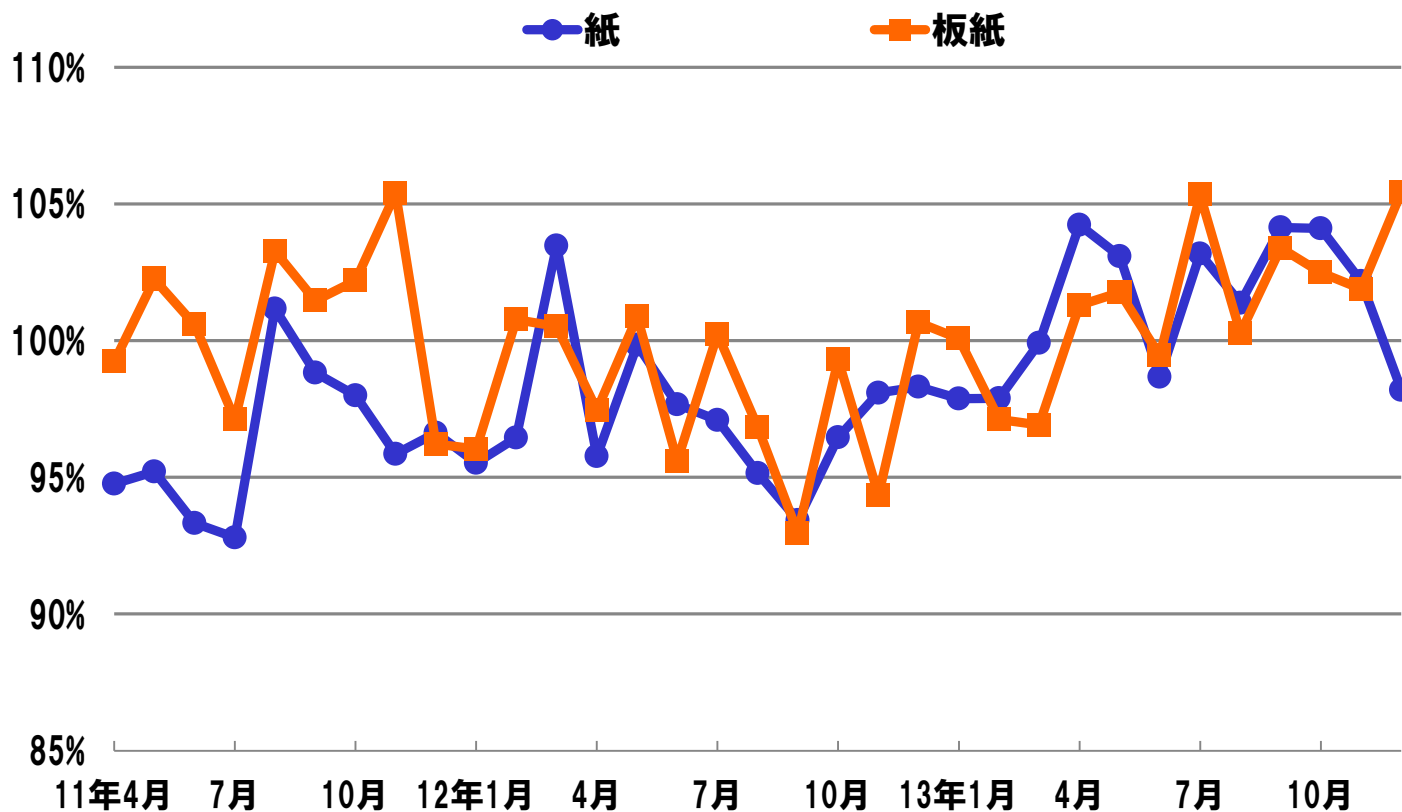


- (1) 2013年10～12月 事業環境の概要**
- (2) 2014年3月期第3四半期 決算概要**
- (3) 2013年10月以降の主なトピックス**
- (4) 2014年3月期 業績見通し**



紙・板紙とも国内出荷は好調に推移

メーカー国内出荷量 対前年比



出所: 日本製紙連合会

(1) 事業環境の概要 - 国内メーカー販売量、輸入量



輸入の減少、国内出荷と輸出の増加が継続

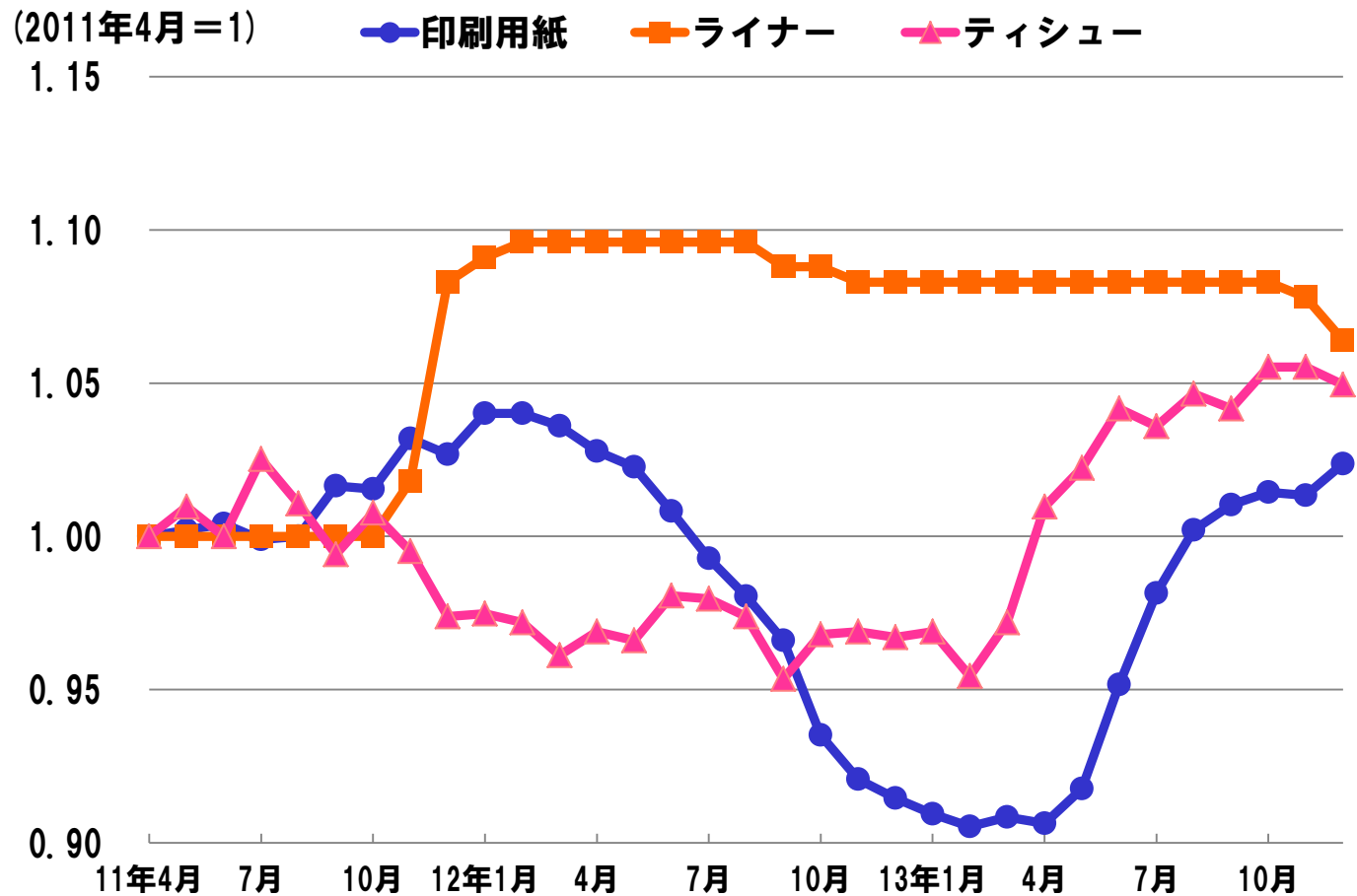
		2013年10月～12月 国内メーカー販売実績				2013年10月～12月実績	
		国内		輸出		輸入	
		数量 (千t)	前年 同期比	数量 (千t)	前年 同期比	数量 (千t)	前年 同期比
紙	新聞巻取紙	822	▲1.5%	1	530.2%	13	▲7.7%
	印刷・情報用紙	2,083	2.8%	129	27.9%	358	▲3.2%
	塗工印刷用紙※	1,212	2.7%	95	33.4%	205	5.4%
	非塗工／特殊印刷用紙	535	2.6%	24	11.3%	39	▲9.4%
	情報用紙	336	3.7%	10	23.4%	114	▲13.9%
	その他の紙 (包装・衛生・雑種紙等)	842	0.9%	50	32.6%	10	▲8.5%
合計		3,747	1.4%	180	29.7%	381	▲3.5%
板紙	段ボール原紙	2,344	3.5%	46	132.9%	22	▲28.5%
	紙器用板紙他	590	2.1%	4	▲26.4%	64	6.2%
合計		2,934	3.2%	50	96.1%	86	▲5.5%
紙・板紙合計		6,681	2.2%	230	40.1%	467	▲3.9%

※ 塗工印刷用紙には微塗工紙を含む。

出所：日本製紙連合会



印刷用紙価格が12月より再び上昇

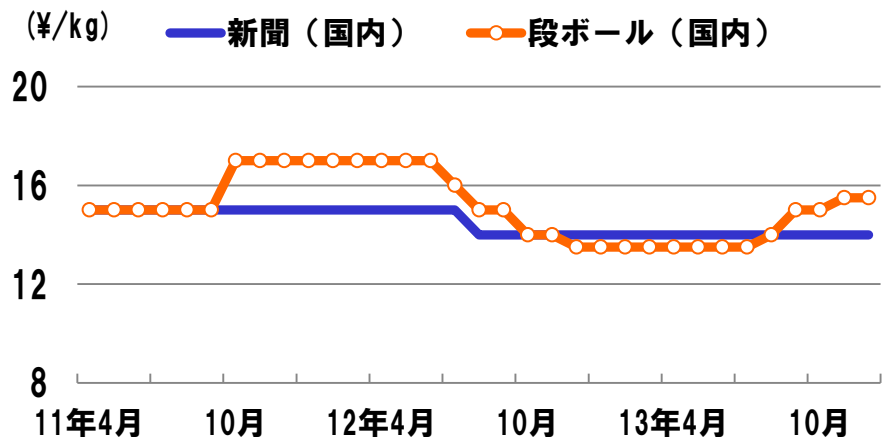


(1) 事業環境の概要 - 主要原燃料価格動向

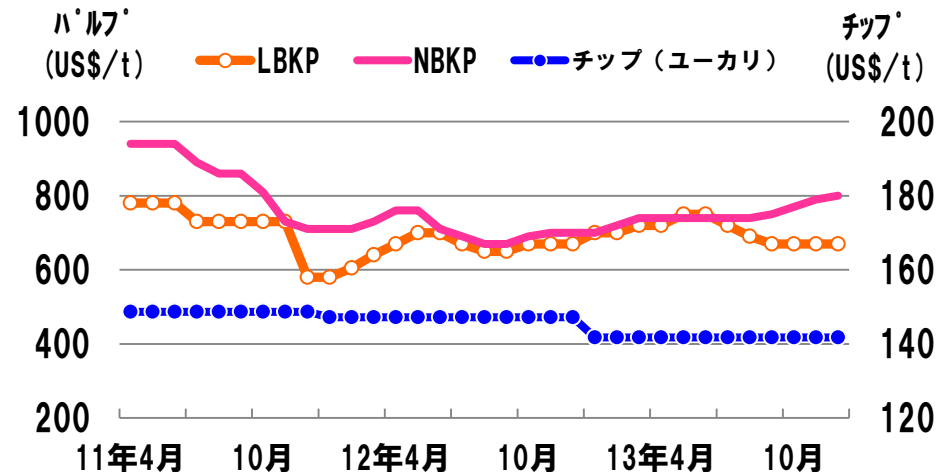


円安がやや進行

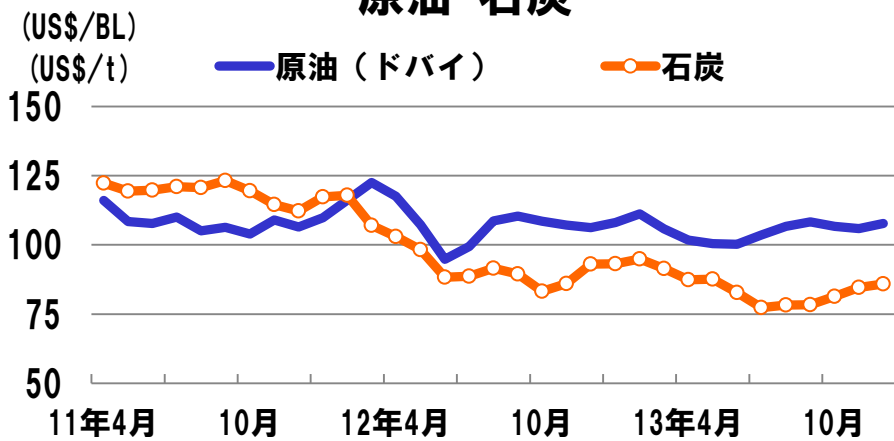
古紙



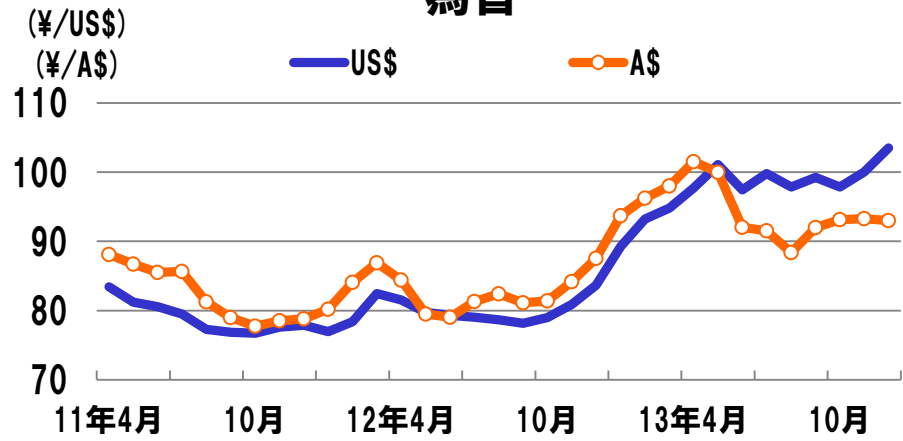
チップ・パルプ



原油・石炭



為替



出所: 古紙再生促進センター、関東製紙原料直納商工組合、財務省貿易統計、原油=Platts、石炭=Global Coal Index



(2)決算概要 - ハイライト

(単位:億円)	FY2013/3Q 実績	FY2012/3Q 実績	増減 (対前年)
<売上高>	2,786	2,638	148
<営業利益>	75	48	27
<経常利益>	78	39	39
<四半期純利益>	58	57	1

- ❑ 紙パルプ事業での販売価格上昇、数量増により増収増益
- ❑ コスト削減、価格上昇、数量増効果が、原燃料価格影響を上回る
- ❑ 特別利益として投資有価証券売却益23億円を計上

(2)決算概要 - セグメント別概況



販売数量、価格の回復により増収増益

	FY2012				FY2013			対前年 増減 (3Q)
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
上段:売上高 下段:営業利益 (単位:億円)								
紙パルプ	2,002	1,992	2,040	1,980	2,025	2,104	2,160	121
	41	35	8	46	21	38	40	32
紙関連	235	246	238	225	235	234	233	▲5
	17	17	20	8	13	14	13	▲6
木材・建材・ 土木建設関連	131	147	164	165	157	160	180	17
	3	6	9	9	6	4	7	▲2
その他	147	172	196	171	146	173	212	16
	▲1	9	12	12	1	8	14	3
合計	2,515	2,557	2,638	2,541	2,563	2,670	2,786	148
	60	67	48	76	40	64	75	27

(2)決算概要 — 紙・板紙販売数量



国内・輸出の出荷増が継続

(単位:千トン)

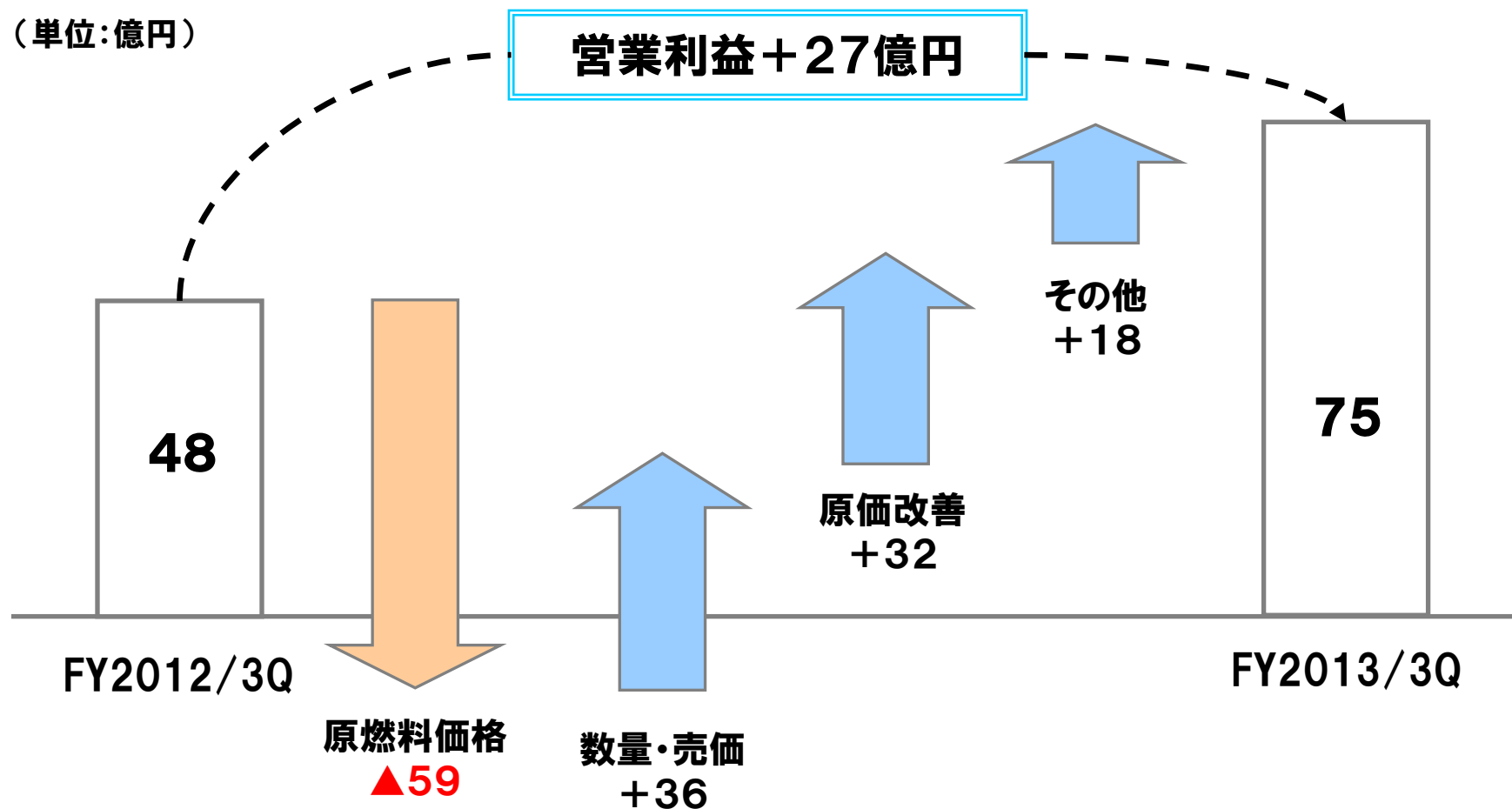
		FY2012/3Q	FY2013/3Q	前年同期比
紙	新聞用紙	305	298	▲2.3%
	印刷・情報用紙	639	652	2.0%
	塗工紙	357	360	0.7%
	非塗工紙	147	149	1.1%
	情報用紙	134	143	6.6%
	包装・雑種紙他	77	81	4.9%
	国内	1,022	1,031	1.0%
輸出	26	49	91.4%	
紙合計		1,047	1,081	3.2%
板紙	段ボール原紙	303	317	4.6%
	紙器用板紙他	89	91	1.7%
	国内	392	408	4.0%
	輸出	10	17	66.3%
	板紙合計	403	425	5.6%
紙・板紙合計		1,450	1,506	3.8%

(2)決算概要 - 営業利益増減要因(対前年同期比)



価格・数量の回復効果と原価改善が原燃料価格上昇を上回る

(単位:億円)



(3)2013年10月以降の主なトピックス



<2013年>

10月30日

工場敷地を有効活用した太陽光発電事業を決定

- 場所: 日本製紙大竹工場(広島県大竹市)
- 発電規模: 約826キロワット、発電開始: 2014年2月3日

11月 5日

セルロースナノファイバー(CNF)の実証生産設備の運転を開始

- 場所: 日本製紙岩国工場(山口県岩国市)
- 国内初の化学処理による本格的なCNF生産設備



12月 6日

段ボール原紙の価格修正を発表

- 値上げ幅: 15%、実施時期: 2014年1月21日出荷分より

12月16日

SCGペーパー社(*1)フィブラス事業部門会社(*2)の株式22%の取得を決定

- 取得金額(予定): 約110億円

(*1) タイ国サイアム・セメントグループの子会社

(*2) 2012年度売上高: 約170億バーツ、生産能力: パルプ47万t/年、紙57万t/年

12月24日

十條サーマル社(フィンランド)の完全子会社化を決定

<2014年>

1月20日

飲料用紙容器の価格修正を発表

- 値上げ幅: 10~15%、実施時期: 2014年4月1日納入分より

(4)業績見通し



(単位:億円)	FY2013見通し (13年11月6日発表)	FY2012 実績
<売上高>	10,700	10,250
<営業利益>	300	251
<経常利益>	250	231
<当期純利益>	150	106

**2014年3月期の業績見通しにつきましては
2013年11月6日発表数値から変更ありません**



注意事項

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

日本製紙株式会社